

研究課題名	救急外来における薬剤師による介入効果の検討
研究責任者名	広島大学 病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
研究期間	倫理委員会承認後～2030年3月31日
対象者	2018年4月～2029年3月の間に、広島大学病院の救急外来に受診もしくは相談となった患者さん（受診時に入院している患者さんは除く）
意義・目的	救急外来搬入後の薬剤管理は救急医療において非常に重要な業務の一つです。しかし、薬剤師の救急外来での業務の有用性は明らかではなく、この度、救急外来に受診となった患者さんのうち薬剤が関与する症例に関し、薬剤師の介入による効果を調査します。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は診療科、入院病棟、患者プロフィール（性別、身長、体重、体表面積、年齢）、既往歴、現病歴・治療歴、入院歴、受診前の状況（独歩・搬送・転院等）、かかりつけ・前医での状況（病歴・薬歴・全身状態・検査値等）、現病歴・治療歴、薬歴、アレルギー・副作用歴、薬剤投与状況・投与日数、家族概要（家族構成、キーパーソンの有無等）、薬剤師の介入内容・時間、職種別の介入内容・時間、服薬状況・調剤方法・投与経路、薬剤投与時間、手術の有無、処置・手術までの時間、処置・手術の概要（術名、麻酔方法、使用薬剤、手術時間等）、出血量、一般用医薬品・サプリメント・健康食品、入院日数、集中治療室入室日数、患者転帰、重症度スコア（SOFAスコア、APACHE IIスコア等）、体外循環機器使用状況（透析・人工心肺等）、入院後の経過、各種検査結果（CT、X線撮影、MRI、エコー、心電図）、血液検査結果、培養結果、血圧・脈拍数、バイタル（体温等）、血液ガス検査結果です。（個人が特定出来る情報は転記しません）
共同研究機関	該当なし
利用を開始する予定日	実施許可日以降
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。得られた情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにすることで、個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・問合せ・苦情等の窓口	研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5579

広島大学 病院薬剤部 薬剤師 檜山 洋子